

第5回 港湾におけるICT導入検討委員会 議事概要

日時：平成30年 3月 2日（金） 14：00～16：00

場所：国土交通省 中央合同庁舎3号館10階 港湾局会議室

1. 主な議事

○事務局より、ICT 浚渫工試行工事の検証、港湾における今後の ICT 活用の拡大方針等について説明をした後、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

<ICT 浚渫工試行工事の検証>

○アンケートのマルチビーム測定の作業時間比較において、作業時間の変化が大きい特徴のある工事については個別に調査してみることが重要。

○数量算出要領の改定案では、まずは要領に示された方法で算出を行い、問題があるようであれば監督職員と協議するという手順の整理が必要。

○アンケートでは、まだ生産性向上につながっていない作業や、早急な ICT 導入に慎重な意見も見受けられることから、今後も港湾の建設プロセス全体として、生産性を向上させていく努力が必要。

<ICT 活用拡大方針の検討>

○今後、多くのモデル工事や業務が同時並行して展開される予定となっているので、適切な ICT が活用可能な現場のある特定の港湾にて、ICT 活用の集中的な検討を行い、この委員会での検討と連携することでスピードアップを図ることなどが必要。

○CIM では、設計、施工、維持管理の各段階で必要とする情報が異なるので、次段階に引き渡すデータについての検討が必要であり、特に国有港湾施設は、維持管理段階では港湾管理者にデータを引き渡すことになるので、データ共有化・保管等の仕組みを考えるべき。

○生産性向上につなげるためには、「ICT で設計・施工・維持管理の技術そのものを変えていく」という意識でロードマップの実現へ取り組むことが必要。

以上